

# 2025年3月薬事審議会結果

新規採用薬は薬事審議会委員会開催の翌月1日（休日の場合は休み明け）より、処方可能となります。切替え、削除薬は、院内在庫がなくなり次第随時となります。

## 1. 新規採用医薬品

採用区分	医薬品名/薬効	備考
用時購入	エルレフィオ皮下注 44mg / 抗悪性腫瘍剤 抗 BCMA/CD3 二重特異性抗体	
用時購入	エルレフィオ皮下注 76mg / 抗悪性腫瘍剤 抗 BCMA/CD3 二重特異性抗体	
特定患者	ロゼバラミン筋注用 25mg / 筋萎縮性側索 硬化症用剤	
特定患者	ヒフデュラ配合皮下注 / 抗 FcRn 抗体フラ グメント・ヒアルロン酸分解酵素配合製剤	
特定患者	クレセンバカプセル 100mg / 深在性真菌症 治療剤	
採用	アイオピジン UD 点眼液 1% / レーザー術 後眼圧上昇防止剤	
特定患者	レスリン錠 25 / うつ病・うつ状態治療剤	
院外採用	ヘモレックス軟膏 / 痔疾治療剤	ネリザ軟膏販売中止のため
採用	逆性石ケン液 0.025「ヨシダ」 / 外用殺菌 消毒剤	眼科で使用

## 2. 後発品変更医薬品

【新規採用】 後発医薬品名	【切替え】 先発医薬品名
エピナスチン塩酸塩 LX 点眼液 0.1%「SEC」	アレジオン LX 点眼液 0.1%
リバーロキサバン OD 錠 10mg「バイエル」	イグザレルト OD 錠 10mg
リバーロキサバン OD 錠 15mg「バイエル」	イグザレルト OD 錠 15mg
ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠 200mg「DSEP」	プラケニル錠 200mg
メトロニダゾールゲル 0.75%「マルイシ」	ロゼックスゲル 0.75%
パロキセチン錠 10mg「SPKK」	パキシル錠 10mg
パロキセチン錠 20mg「SPKK」	パキシル錠 20mg
エリブリンメシル酸塩静注液 1mg「日医工」	ハラヴェン静注 1mg

## 3. 採用区分変更医薬品

医薬品名	採用区分（変更前→変更後）
ワントラム錠 100mg	採用→用時購入
ジャカビ錠 5mg	採用→用時購入

フロリネフ錠 0.1mg	採用→用時購入
アクラシノン注射用 20mg	採用→用時購入
ルジオミール錠 25mg	院外採用→採用

#### 4. 規格追加・規格変更・名称変更採用医薬品

規格追加・変更・名称変更医薬品名	備考
チラーゼン S 錠 12.5 $\mu$ g	規格追加、院外のみ
チラーゼン S 錠 25 $\mu$ g	規格追加、院外のみ
イドメシンパップ 70mg	イドメシンコーワパップ 70mg から変更
リドカインテープ 18mg 「YP」	「NP」 から変更
ドブタミン持続静注 150mg シリンジ「テルモ」	「KKC」 から変更

#### 5. 採用中止医薬品

医薬品名	中止前採用区分	備考
パキシル錠 10mg	院外採用	経過措置
パキシル錠 20mg	院外採用	経過措置
ハラヴェン静注 1mg	用時購入	後発品へ変更
イドメシンコーワパップ 70mg	採用	経過措置
リドカインテープ 18mg 「NP」	採用	「YP」へ変更
ドブタミン持続静注 150mg シリンジ「KKC」	採用	「テルモ」へ変更
デトルシールカプセル 2mg	院外採用	販売中止
デトルシールカプセル 4mg	院外採用	販売中止
ザイロリック錠 100	院外採用	販売中止、アロプリノール錠 100mg 「あゆみ」で代用
MAG シンチ注(222MBq)	採用	経過措置
スベニールディスプレイ関節注 25mg	採用	経過措置
プロチアデン錠 25	院外採用	販売中止のため、若松医師よりルジオミール錠 25mg を院外から院内へ採用変更依頼あり
ノバミン筋注 5mg	採用	販売中止、錠剤で代替
ネリザ軟膏	院外採用	販売中止、代替薬としてヘモレックス軟膏を院外採用で新規採用
治療用アレルギーエキス皮下注「トリイ」ハウスダスト 1:10	採用	販売中止
治療用アレルギーエキス皮下注「トリイ」ハウスダスト 1:100	採用	販売中止

診断用アレルギー皮内エキス治療用アレルギーエキス皮下注「トリイ」ハウスダスト 1:1,000	採用	販売中止
治療用標準化アレルギーエキス皮下注「トリイ」スギ花粉 200JAU/mL	採用	耳鼻科田中医師了承済み
治療用標準化アレルギーエキス皮下注「トリイ」スギ花粉 2,000JAU/mL	採用	耳鼻科田中医師了承済み
診断用アレルギー皮内エキス対照液「トリイ」	採用	耳鼻科田中医師了承済み

#### 6. 臨時採用

医薬品名	備考（分類）
ヘパリンナトリウム注 N1 万単位/10mL 「AY」	「ニプロ」供給不安定のため
マキサカルシトール静注透析用 2.5 $\mu$ g 「トーワ」	「NIG」供給不安定のため
マキサカルシトール静注透析用 5 $\mu$ g 「トーワ」	「NIG」供給不安定のため
フェンタニル注射液 0.25mg 「テルモ」	フェンタニル注射液が全体的に供給不安定のため

#### 7. 院内製剤

院内製剤名	採用/削除	備考（分類）
なし		

#### 8. その他

##### 1) フォーミュラリ作成小委員会より

ヒスタミンH1拮抗薬の見直し（2020年9月作成）

→特に変更無し 第一選択：フェキソフェナジン塩酸塩錠 60mg 「SANIK」

9. 次回薬事審議会は、2025年5月21日（水）、場所は研修棟 3F 講義室の予定です。